

2023年6月23日

通貨ニュース

フィリピン:6月金融政策会合～タカ派なトーンは徐々に弱まる

フィリピン中央銀行(BSP)は22日に開催した金融政策会合で、政策金利の翌日物リバースレポレート従来の6.25%に据え置いた(図表1)。BSPは過去9回連続で利上げを実施してきたが、前回5月会合に続き利上げを見送った。また、上限金利の翌日物貸出ファシリティ(OLF)レートおよび下限金利の翌日物預金ファシリティ(ODF)レートも変動なく、それぞれ6.75%と5.75%となった。なお、ブルームバーグの事前予想では、現状維持が有力であった。

声明文では、国内のインフレ動向に関する記述が目立った。直近公表の5月消費者物価指数(CPI)は前年比+6.1%と4月の同+6.6%から低下した(図表2)。過去数か月の動きと同様に食料品価格やエネルギー価格の下落が進んだことが主な要因だ。また、BSPは前回5月会合に続いてインフレ見通しを更新しており、23年は前年比で+5.5%、24年を+2.9%とした。23年については更なる下方修正が施されており、引き続き10～12月期での目標レンジ内(+2.0～+4.0%)へ収束を見込んでいる。その一方で、食料品とエネルギー価格を除いたコアCPIの数字は前年比+7.7%と周辺国と比較しても強さが際立っており(図表3)、今後にかけても最低賃金上昇や気候変動に伴うインフレの上振れリスクにも引き続き警戒感を示している。

BSPは、インフレのピークアウトを背景に今回会合も政策金利を据え置き、利上げ終了観測も強まっている。今後の政策指針を占う上では、引き続きインフレ動向が大きな材料となっている。メダラ総裁は利下げを検討する際にはCPIが2か月連続で+4.0%を下回ることを確認したいといった発言も出たが、足許の数字から判断すれば、利下げにはまだ距離があるものと考えられる。また、年内での目標レンジ収束の背景には国内経済成長の減速による需要面のデフインフレも要因として指摘しており、成長率予想の見直しはなかったものの、過去数回の会合と比較して景気動向に配慮した点も見られた。総じてBSPのタカ派姿勢は弱まりつつある状況で、メダラ総裁の任期は今年7月までの予定であるが、総裁交代後も政策スタンスに大きな変更はないものと考えられる。

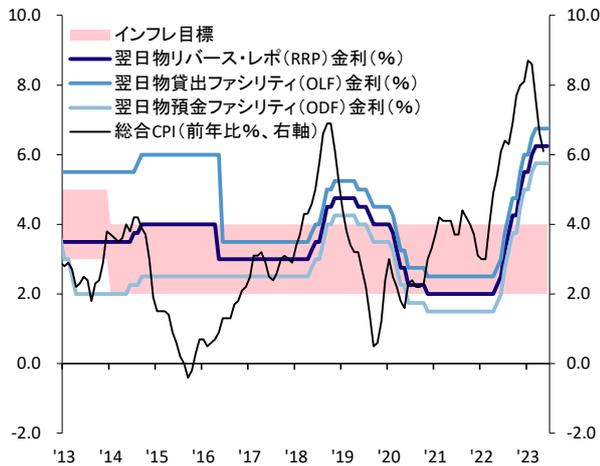
一方で、米国をはじめ先進国のインフレが長期化しており、複数の国で予想外の利上げや追加利上げを示唆する国が出てきているなど、外部要因にも配慮が必要な相場地合いになっている。6月のPHPの動きをみても特に先進国の利上げ(≒金融引き締め)途中の通貨に対しては概ね弱含んでおり、金融政策の方向感が相場に出やすくなっている印象がある(図表4)。ASEANの周辺国をみてもインフレが一巡した場合については、利上げを打ち止めている国も出ており、通貨の動きを見ても概ね同様のトレンドが見られる。かかる状況を踏まえてもFRBが最大で年内2回の利上げ可能性を残している中で、7～9月期でも一時的に下落圧力が強まる展開も考えられる。

PHPの上振れ要因としては、ファンダメンタルズの改善や資源価格の下落に伴

市場営業部
マーケット・エコノミスト
堀 堯大
03-3242-7065
takahiro.hori@mizuho-bk.co.jp

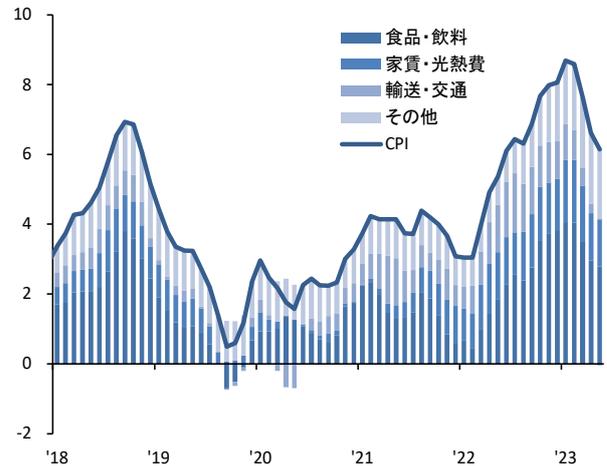
う貿易赤字の縮小といった国内要因もあるが、最大の材料は ASEAN 通貨の軟調推移に繋がっていると見られる、中国経済の動向と年後半の成長を下支えする景気支援策の検討ではないだろうか。これらについては、7月中旬公表予定の4~6月期実質 GDP 成長率の内容やその前後にかけての当局の情報発信に対して特に注意を払いたい。

図表 1:政策金利水準とインフレ目標



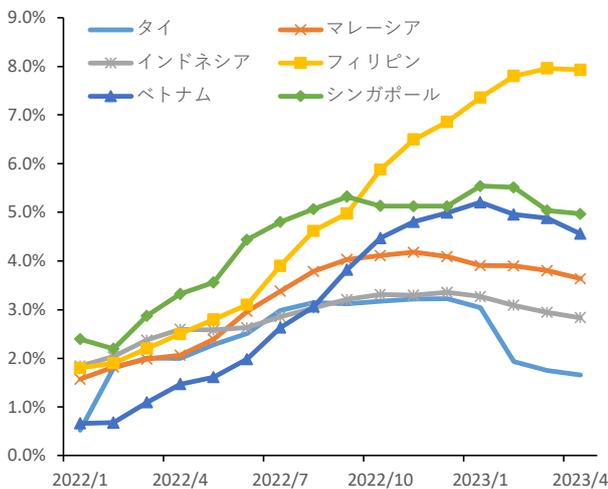
出所: フィリピン中央銀行、フィリピン国家統計局、Bloomberg、みずほ銀行

図表 2:消費者物価上昇率の推移(前年比%、%ポイント)



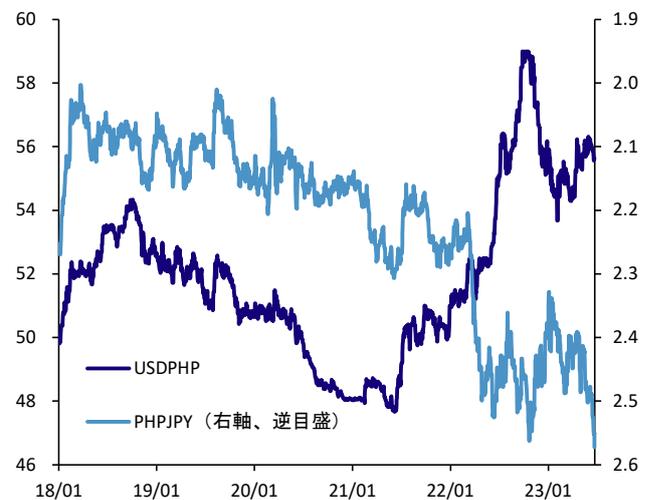
出所: CEIC、みずほ銀行

図表 3:ASEAN 各国のコア CPI の動き(前年比%)



出所: Macrobond、みずほ銀行

図表 4:PHP 相場動向



出所: Bloomberg、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。